

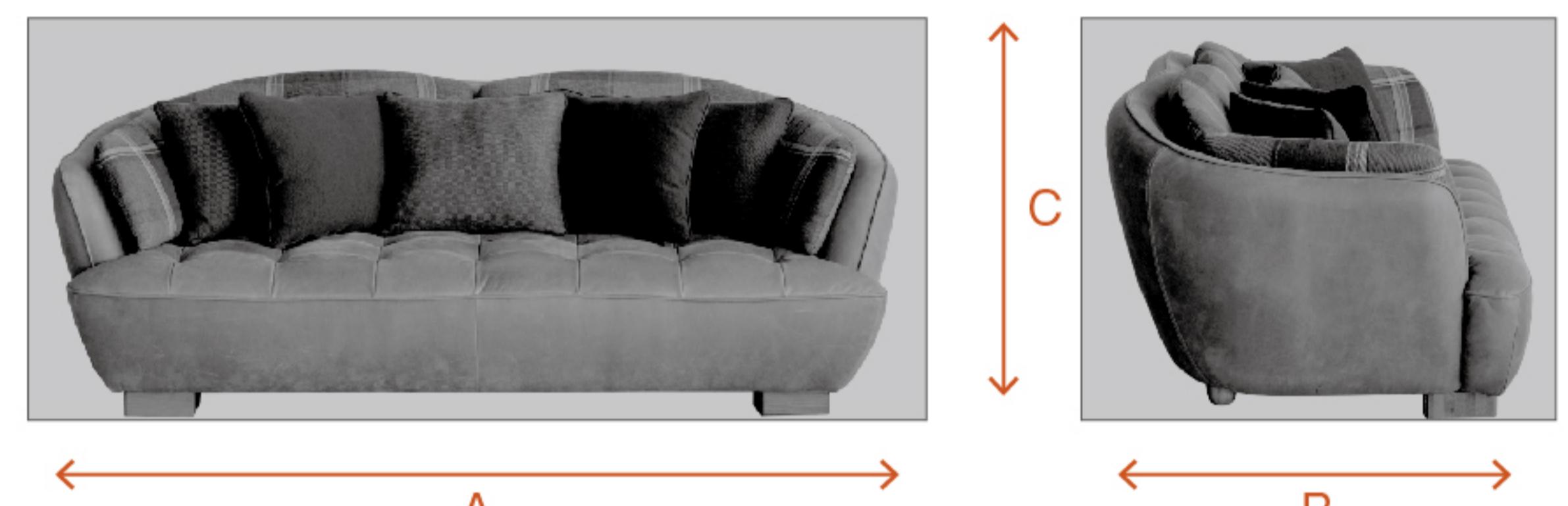
大型家具の搬入経路について

せっかくご注文いただいたお気に入りの商品も、導線が確保できていないと搬入できない場合がございます。下記を参考にしながら搬入経路についてご確認ください。

※万が一商品が搬入できなかった時のキャンセルや変更が発生する場合、商品の往復の配送料及び付帯料金はお客様のご負担となります。

① 商品のサイズ

梱包時の寸法または製品の幅、奥行、高さを確認してください。傾けたりすることができる製品かも合わせて確認してください。搬入可否については天地左右+10cm以上の余裕をもって判断することをおすすめします。

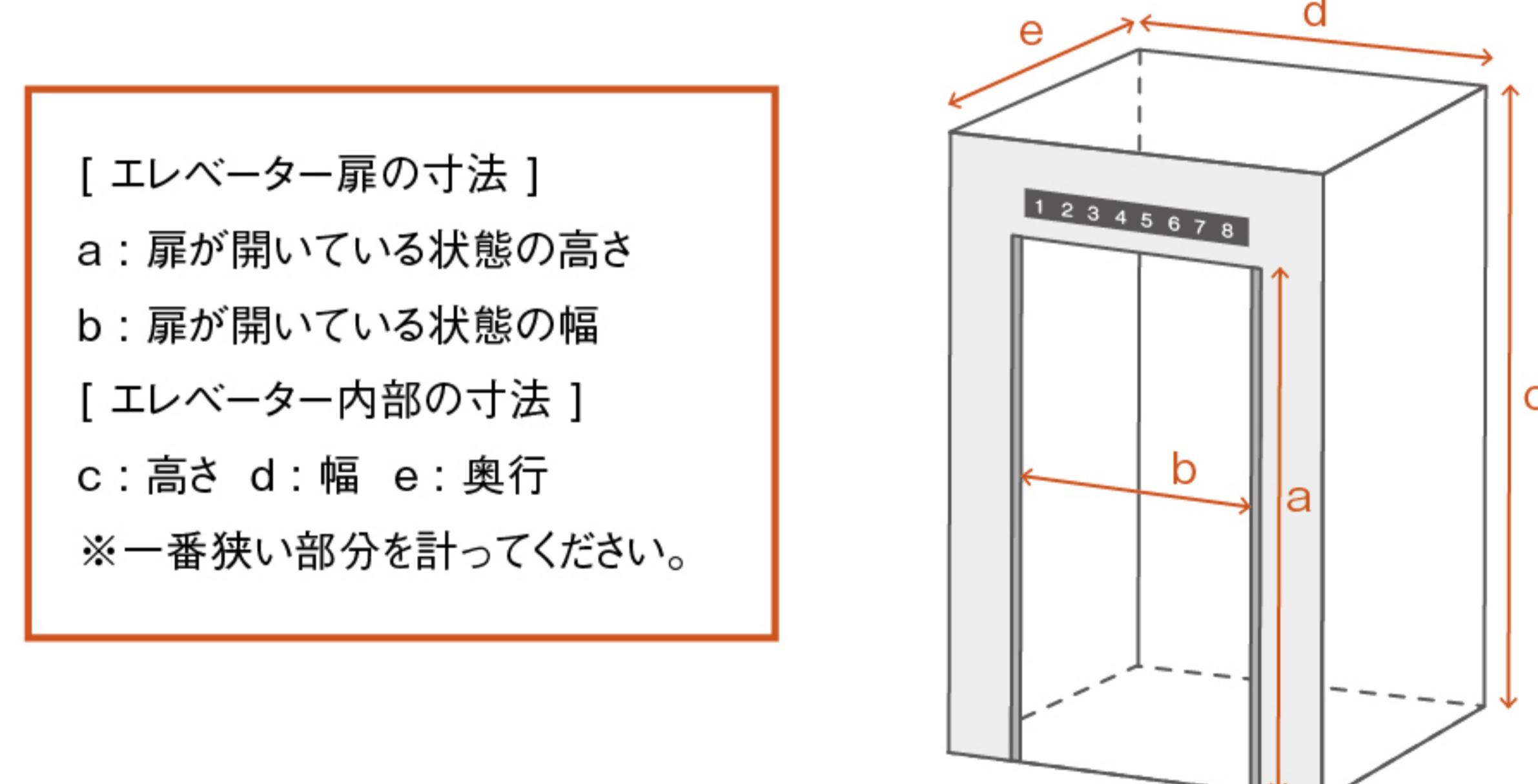


A : 商品の一番大きな辺 B : 二番目に大きな辺 C : 三番目に大きな辺

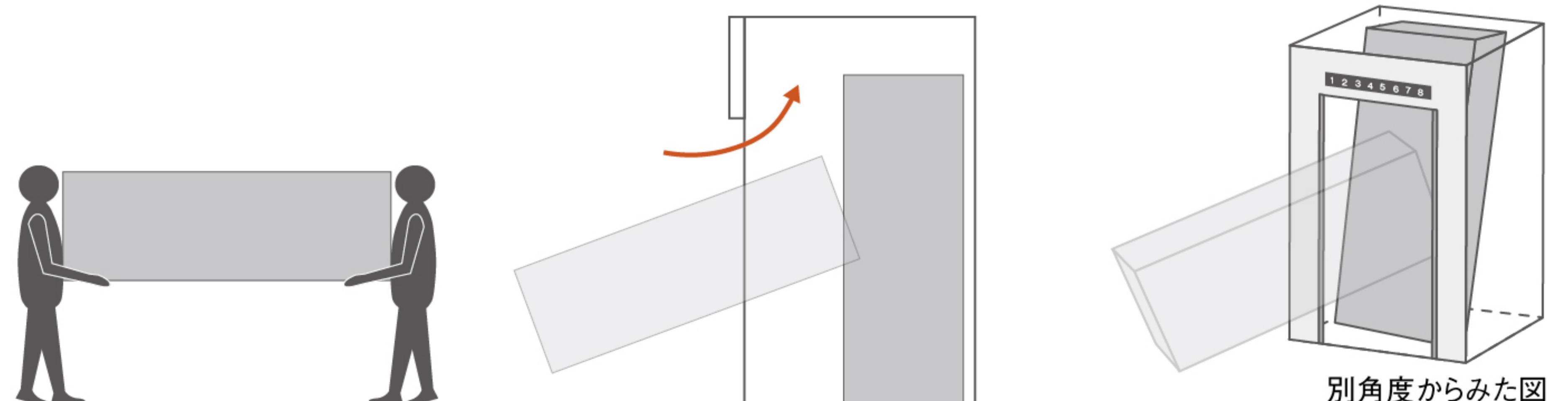
② エレベーター

エレベーターで確認するポイントは大きく2つあります。1つ目は扉の有効寸法で2つ目はエレベーター内部の寸法です。傾けることができる商品の場合、横向きに搬入してエレベーター内で縦置きすることも可能です。

エレベーターから降ろす時に切り返しが発生する場合は④と併せて確認ください。



[エレベーター扉の寸法]
a : 扉が開いている状態の高さ
b : 扉が開いている状態の幅
[エレベーター内部の寸法]
c : 高さ d : 幅 e : 奥行
※一番狭い部分を計ってください。



別角度からみた図



② 押さえるポイントは大きく6つ!

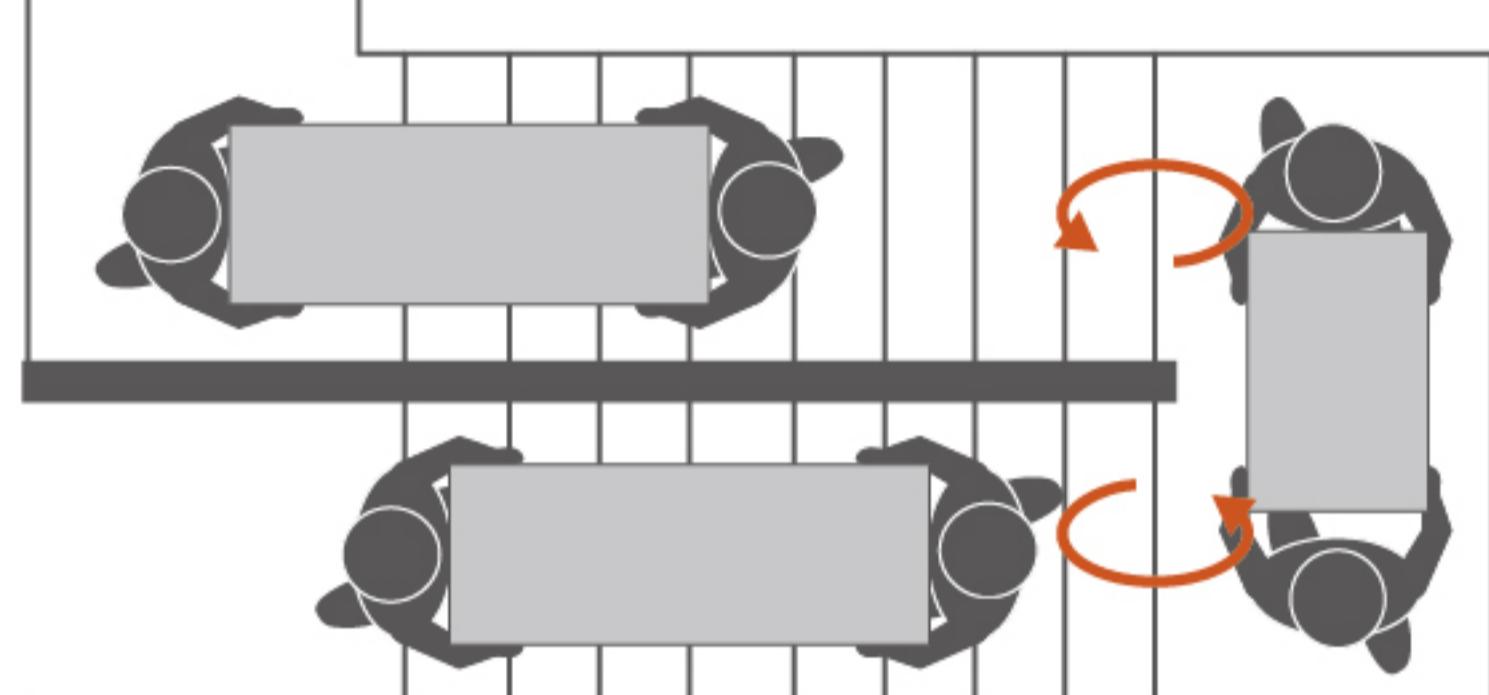
③ 階段

階段で確認するべきポイントは2つです。1つ目は階段の寸法と手すりや照明などの障害物がないか、2つ目は切り返しのある階段の場合、踊り場の寸法が重要になります。

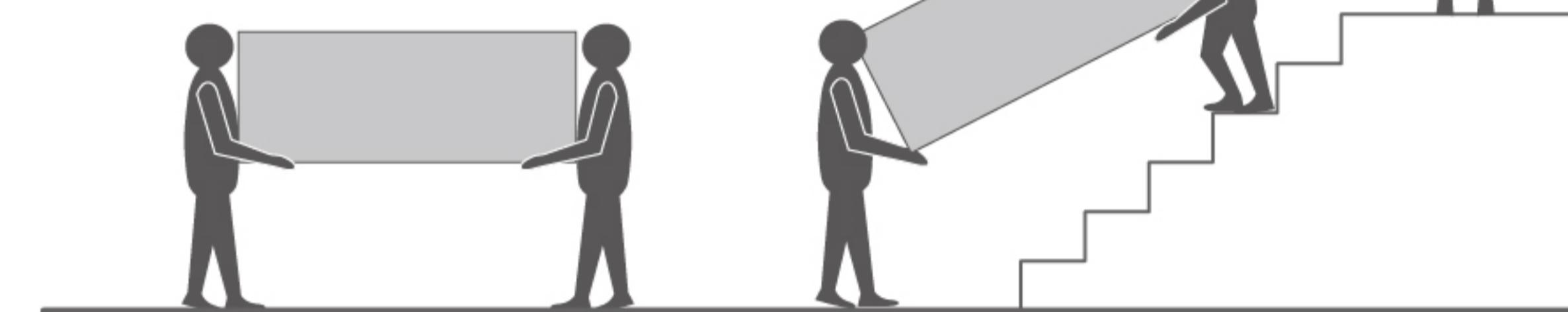
※螺旋階段の場合は別途確認が必要です。

f : 階段の天井高
g : 階段の幅
h : 踊り場の天井高
i : 踊り場の奥行
k : 踊り場の幅

踊り場のスペースが十分にない場合は商品を縦持ち変えて行います。

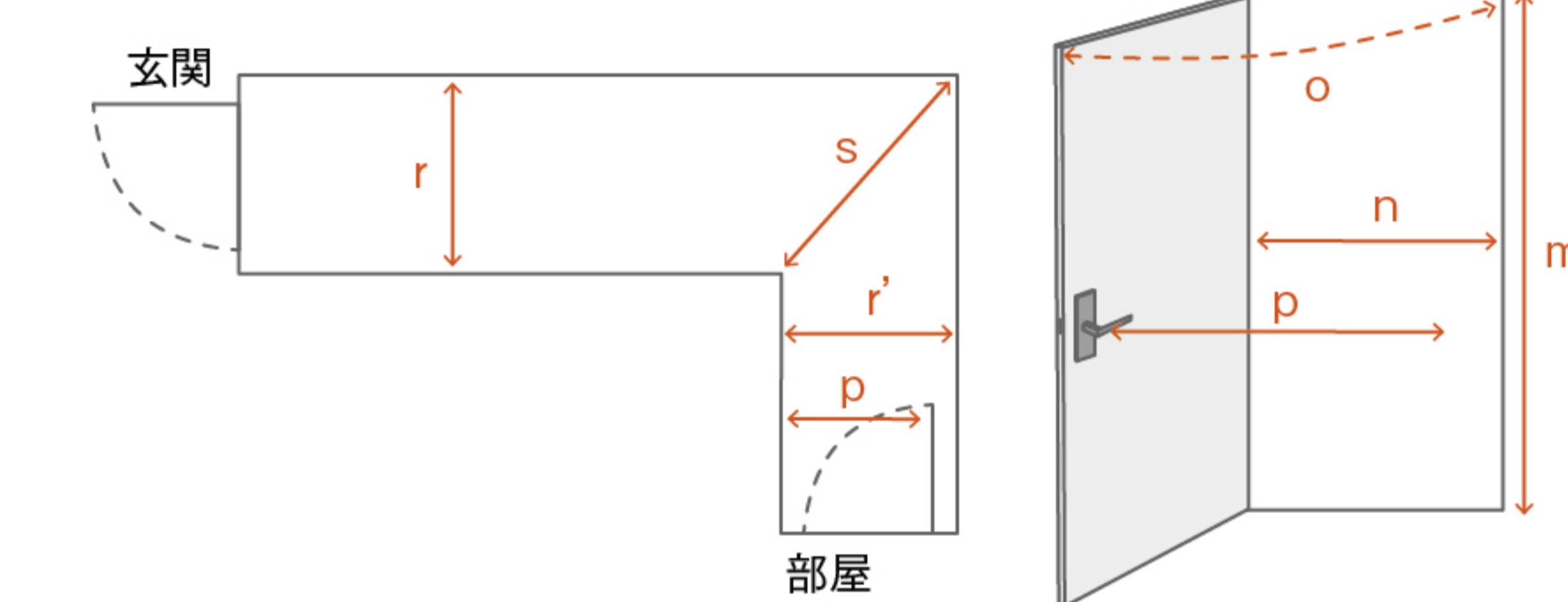


横から見た図



④ 通路/廊下

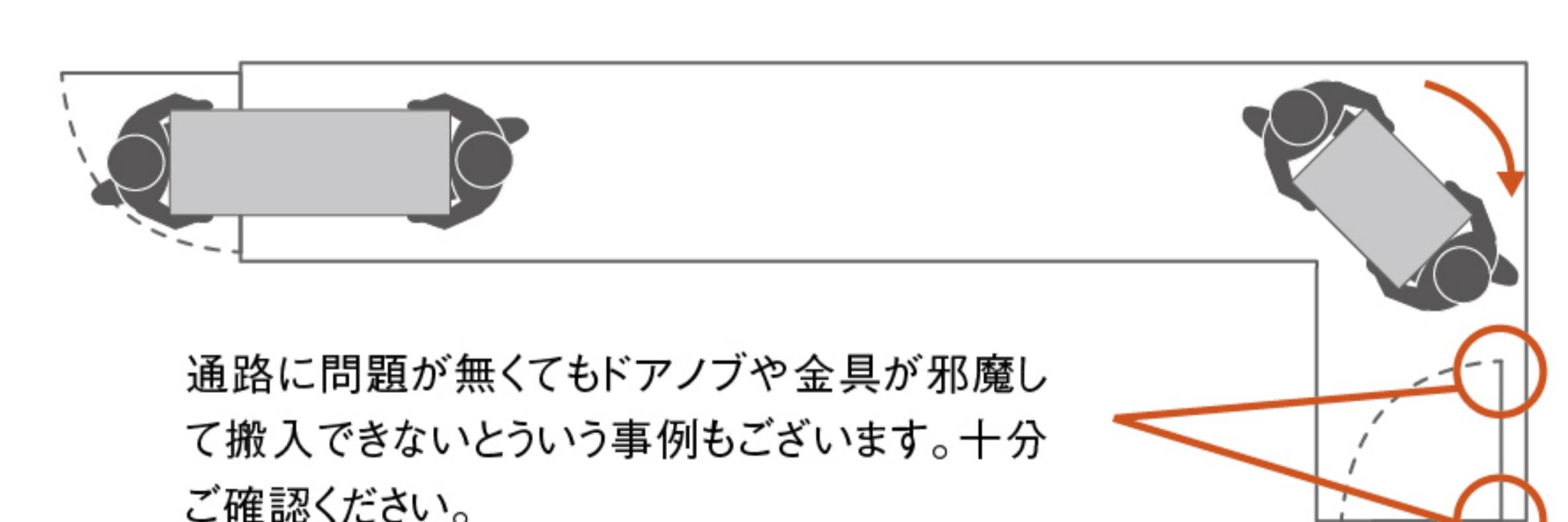
通路や廊下の有効幅が特に重要な箇所になります。コーナー(角)がある場合はその対角幅もポイントの1つです。コーナーを曲がるには商品を斜めに切り返さないなりません。またコーナーの切り換えしが厳しい箇所でも十分な天井高があれば搬入できる場合があります。



m : 高さ n : 幅 o : 扉の可動域 p : 取手から壁までの幅
r : 廊下の幅 s : 曲がり角の対角幅

⑤ 扉

扉について、扉が90°以上開くか、また開けた時取手から壁までの距離が十分にあるかが重要です。通路は通っても扉の作りによっては搬入できない場合があります。照明や装飾品などがある場合はそちらも十分に考慮してください。



通路に問題が無くてもドアノブや金具が邪魔して搬入できないという事例もございます。十分ご確認ください。

⑥ ベランダ

家具の周辺状況によっては吊り上げ搬入も可能ですが。吊り上げにかかる付帯費用はお客様のご負担となります。ベランダ、および窓枠のサイズなどの確認も併せて必要となります。屋外を含む周辺の環境やお住まいのエリアによってはお受けできない場合がございます。また、吊り上げ可能な回数は2階までとなります。